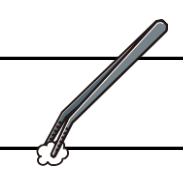
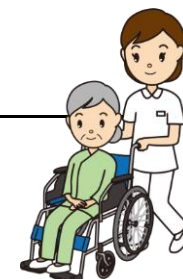
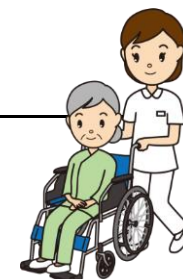
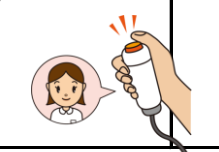


人工股関節置換術を受けられる患者さんへ

患者氏名：

主治医：

受け持ち看護師：

月日 項目	入院日～手術前日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術後 1 日目	手術後 2 日目	手術後 3 日目 ～ 16 日目	術後17日目（退院）	
達成目標	- 手術や術後の状態について理解し不安なことや疑問点は質問することができる - 感染予防行動（手洗い・うがい、口腔ケア、シャワー等）がとれる - 転倒の危険性を理解し転倒を予防することができる - 疼痛増強時に報告ができ疼痛緩和の処置を受けることで疼痛が緩和したと言える		- 自覚的な症状を医療者に伝えることができる - 疼痛増強時に報告ができ、疼痛緩和の処置を受けることができる - 禁忌肢位（脱臼に必要な体位）を理解することができる - 深部静脈血栓症の危険性を理解し、予防行動をとることができる - 腓骨神経（ひざ下外側にある神経）の圧迫を予防し、神経麻痺を起こさない - 褥瘡（床ずれ）予防行動（ヒップアップなど）を行い、褥瘡の発生を予防できる - 感染予防行動（傷のセルフチェック、口腔や傷口の清潔の保持）を行うことができる				- 異常があるときは、早めに連絡し受診する事ができる - 退院後の注意点を守ることができる	
			- 転倒の危険性を理解し予防する行動がとれる - リハビリテーションの必要性を理解し実施できる					
			・手術の準備が整っている		・ドレーンが抜けて歩行または車椅子に移乗できる			・退院後の注意点を理解し不安なことや疑問点は質問することができる
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	- 現在内服しているお薬は医師の指示に従って下さい - 手術前日の21時頃に下剤を飲みます - 歯科受診があります - 痛み止めが必要なときは申し出てください 	- 指示された薬のみ内服します - 病棟で点滴を始めます 1 番目の方は8時頃に手術室へ行きます - ご家族と一緒に手術室へ行きます 	- 点滴、ドレーンがあります - 貯血した方は自己血を輸血します - 心電図モニターをつけます - 血栓予防にフットポンプをつけます - 点滴と背中（硬膜外）の管から痛み止めを投与します - 抗生剤を点滴します	- 抗生剤の点滴があります - 出血量に応じて術後 1～2 日目にドレーンを抜きます 		- 傷口が見えるフィルム剤を貼付します - 必要時に張り替えます - 手術後11日～14日に剥がします	- 内服薬がある場合は継続して内服します - 定期的な外来受診や、リハビリテーションを継続します	
				- 今まで飲んでいた薬を再開し、新たに鎮痛剤の内服が始まります - 貯血した方は自己血を輸血します - ベッドサイドでリハビリを行います		・2 階のリハビリテーション室でリハビリテーションを行います ・歯科受診が術後に 2 回あります		
検査	・採血やレントゲン撮影がある場合があります	・特にありません	・手術後に採血があります	・朝食前に採血があります 		・手術後 3 日目と 7 日目に採血の予定です ・手術後 7 日目にレントゲン撮影を予定しています ・必要に応じて採血やレントゲン撮影を行います	・外来時必要に応じて採血やレントゲン撮影を行います	
活動・安静度	- 特に制限はありません - 転倒予防のため必ず踵のある靴を履きましょう - タバコを吸ってはいけません		- ベッド上安静です - 寝返りは看護師が介助して行います 	- リクライニングの操作は、ドレーンの抜去防止のために看護師が行います。ナースコールでお知らせください - ドレーン抜去後は歩行器での歩行を開始します。初回の歩行は医師とともに行います - 医師の許可があるまで、必ず看護師と一緒に移動しますので、トイレや移動の際はナースコールでお知らせください		- 医師の許可があれば 1 人で歩行器歩行、車椅子移乗が可能となります - 寝返りは枕をはさんで行います 	- 転倒予防行動を継続し、転倒しないように注意してください - 脱臼肢位に気をつけて生活しましょう 	
食事	- 昼食よりお部屋に配膳します - 絶飲絶食の時間は麻酔科医師の診察後にお知らせします	・麻酔科医の指定された時間まで水分（水・お茶のみ可）を摂ることができます。絶飲絶食の時間をお守りください	・絶食です。飲水は主治医の許可を得て開始します 	- 手術前と同様の食事が始まります - 水分を十分にとりましょう 		 	・標準体重を目標としましょう	
清潔	- 皮膚が弱い方や体に傷がある際にはお知らせください - 化粧やマニキュア等はおとして下さい - シャワーは手術前日までに入ってください。介助が必要な方は介助します - 歯磨きをしっかりとしましょう 		・ベッド上で看護師が口腔ケアを行います	- 体拭き、洗髪、足浴を一緒に計画を立てて行います - 医師の許可が出るまでシャワーには入れません - 歯磨きをしっかりとしましょう 		・シャワーの許可が出たら、必要にあわせて介助をします 	- シャワーに入る時は、滑り止めや浴用椅子を使用しましょう - 抜歯など歯の治療を行う際は、治療前に主治医に相談しましょう	
排泄	・制限はありません		- 尿の管は入れたままです - 排便はオムツや便器を使用しての排泄になります	・ドレーン抜去後に尿の管を抜きます。排尿と排便はトイレで行う事ができます			・和式トイレにはかぶせ式便座やポータブルトイレを使用しましょう	
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	- 病棟クラーク（事務職員）が病棟の案内を行います - クリニカルパスに沿って手術前オリエンテーションを行います - 主治医から手術説明、麻酔科医から麻酔の説明があります。家族同伴で行いますので、そのまま帰らずにお部屋でお待ち下さい - 手術に必要な同意書を記入し、看護師に提出してください 【ご家族の方へ】 - 病室へ入室の際は、部屋の前で手指消毒をお願いします  		- 化粧をしてはいけません - 指輪、義歯、コンタクトレンズ、時計、ピアス等の貴金属類や湿布を外してください - 手術衣に着替えて肺塞栓症予防のための弾性ストッキングを履きます - トイレを済ませストレッチャーに乗り、3 階の手術室へ移動します - ご家族は、手術室入室前までには直接病室へお越しください	- 主治医より、患者・家族へ手術の経過について説明があります - 麻酔が切れてくると徐々に足が動くようになってきます。深部静脈血栓症予防のため足首の底背屈運動をしましょう - 気になる症状があればすぐにナースコールで伝えましょう - 床ずれや合併症予防のために、ヒップアップをしましょう - 痛みがあるときは軽い痛みでも痛み止めを使いますのでナースコールでお知らせください 			- 股関節の良肢位の保持に努め、脱臼に注意しましょう。寝返りは股に枕を挟んで行いましょう - 水分をしっかりとること、足の底背屈運動を心掛け、深部静脈血栓症予防に努めましょう - 主治医の指示があるまで弾性ストッキングは履き続けましょう - 履きなれた靴を正しく着用し転倒・転落予防に努めましょう - 転倒すると、手術部位骨折のリスクがあります - 傷を定期的にセルフチェックしましょう - 感染の初期症状（傷の腫れ、発赤、熱感、手術 1 週間後の発熱）に注意しましょう <u>* 詳細は詳しくはパンフレットに詳しく書いてますので必ずご参照ください</u>	医療保険等の診断書が必要な場合は、1 階診断書窓口で手続きを行なってください 尚、書類作成には約 2 週間かかります
				・病棟クラーク（事務職員）が会計票、看護師が預っている内服薬を病室までお持ちします。病室でお待ちください ・退院後初回再診日まで、不明な点、不安な事がありましたらパンフレットに記してある連絡先にご連絡ください				
手術の準備物品	- 手術前日までに T 字帯 1 枚、平オムツ 1 枚（1 階のローソンに売っています）、曲がるストローまたは箸のみ、必要時スプーンやフォーク、を準備してください - 手術当日より、病衣借用が必要となります（1 日80円）ので、専用の申込用紙に記入し入院総合案内受付に提出してください。使用しなくなった場合、使用中止の手続きが必要ですので看護師へ申し出てください - 手術後はリハビリテーションが始まりますので、踵のある履き慣れた運動靴や動きやすいズボンを準備してください - マジックハンドや靴ペラ、シャワーの時に足先を洗う柄つきブラシがあると便利です  							

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです。
諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承ください。